



自分の「梨農園」で叶える 利府梨づくりと6次化の夢。

地域おこし協力隊、『金の利府梨カレー』で知られる近江貴之さんが、4月から梨農家として独立。「梨づくりは1年を通して自分の頑張った成果が目に見えるので、とてもやりがいがあります。これからも立派な



利府おもて梨園
(金の利府梨カレー)

十符人

「十符人(とふと)」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。

利府おもて梨園

おうみ たかゆき
園主 近江貴之さん

※2023年3月31日まで利府町地域おこし協力隊。4月1日より「利府おもて梨園」園主。

1984年生まれ・仙台市出身。民間企業に就職後、利府町の「梨農園および6次化の担い手募集」を知り、2019年7月から地域おこし協力隊として活動。利府町の梨農家で梨栽培を学びながら、規格外や傷物の利府梨を活用した「金の利府梨カレー」開発に取り組み商品化。2023年4月より「利府おもて梨園」園主として独立。

利府梨を作っていきたい」と笑顔。30代半ばで大手通信会社の社員から地域おこし協力隊に。「自分の手で目に見えるモノを創り、生業にしたいという思いを強くしていた時、地域創生イベントで利府町が梨農家や6次化の担い手を募集している事を知り、ピンときたんです」と話します。梨農家の先輩方から栽培ノウハウを学び



「利府おもて梨園」で剪定作業に取り組む近江さん

ながら、規格外や傷物の利府梨を使った『金の利府梨カレー』を開発。カレーはリフノスのアリーノで提供。レトルト商品は観光協会などで販売中です。「貴重な利府梨を一つも無駄にしないよう、6次化の商品ラインアップを増やしたい」と近江さん。利府梨の魅力発信や廃農園の再生、また異業種の方々と連携したイベント等、地域の活性化にも尽力。「利府梨は評価が高く、需要も多いのに、梨農家、生産数共に減っています。サラリーマン出身の自分が自ら、楽しく稼げて、かっこいい梨農家を実践し、新しい担い手を喚起していきたい」と話します。春は満開の梨の花、秋はたわわに実る梨を見に、そして梨づくりに関心のある方はぜひ、「利府おもて梨園」へどうぞ！

※6次化とは：農業者(1次産業)が、農畜産物の生産だけでなく、製造・加工(2次産業)やサービス業・販売(3次産業)にも取り組むことで、生産物の価値をさらに高め、農業所得の向上を目指す取り組み。

利府町内の桜の名所を紹介します！

館山公園(利府城跡)



モリリン加瀬沼公園



利府町公式Instagram「みやぎ利府歩き」では町内の桜の開花情報をリアルタイムでお届けします。フォローをよろしくをお願いします！

利府町公式Instagram



Instagram icon and text 'rifu_town'

